



緩やかに時間が流れるポーペンニャンの国から

国立国際医療研究センター国際医療協力局

広報情報課長 田村 豊光

東南アジアの小国ラオス¹⁾には、日本とは違う緩やかな時間の流れや社会の寛大性があるように感じる。遅刻してもポーペンニャン、会議がドタキャンになってもポーペンニャン、大変だと思われることが起こってもポーペンニャンと、色々なことが「ポーペンニャン」の一言で収まる。この言葉は、ラオ語で「問題ないよ」、「大丈夫だよ」²⁾などの意味で、日常のあらゆる場面で用いられる。筆者もラオスの同僚から、ポーペンニャンという言葉がかけられ、肩の荷が下りたような感覚を味わったことが何度もある。

他方、ラオスの周辺国をみると、社会開発の段階が進むにつれ、時間の流れが高速化しているような印象をもつ。その例として、ラオスを含む10か国で構成される東南アジア諸国連合（ASEAN）は、地域経済共同体としてサービス貿易の自由化を急速に進めている。エンジニア、建築士、医師や看護師

等が地域内で自由に移動できる協定を加盟国間で締結した。これが、ASEAN相互認証協定（MRA）³⁾である。看護師の場合、出身国での看護師免許の取得と登録、3年以上の実務経験、規定の継続教育を受講するなどの条件を満たすと、地域内の移動が可能になる。例えば、ラオス人看護師が、隣国のタイやベトナムで看護師として職に就くことができるようになる。これに対しラオス保健省は、MRAの条件を満たすため、医師、歯科医師、看護師及び助産師を対象とした国家試験、免許の登録、付与及び更新、そして継続教育制度の創設に積極的に取り組んでいる⁴⁾。藤田らは、MRAは加盟国の免許登録制度の設置や強化を図る推進力になっている⁵⁾と述べており、ラオスへの影響は大きい。独特の時間の流れをもつラオスでは、この普遍性を乱すかのように、急激な変化が起こりつつある。これまでは、医師や看護職の免許制度がなく、保健人材養成校を卒業することで保健専門職に就いていたことから、免許制度がなくてもポーペンニャンという時代であった。しかし、MRAによって、ラオスの保健医療従事者に対する制度は、大きく変わろうとしている。

筆者は、独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じて、ラオス保健省で看護師国家試験制度の創設に携わった。ラオス保健省は、医師、歯科医師、看護師及び助産師の国家試験制度を同時に立ち上げるため、国際機関や各国政府に対し支援を要請した。医師と歯科医師は、世界保健機関、アジア開発銀行やフランス大使館、助産師は国連人口基金、そして看護師は日本政府が制度創設の支援することになった。看護師国家試験の場合、養成課程が複雑であること、養成数が最も多いこと、養成校が全国数か所に設置されていること等から、他の専門職と比較し



首都ビエンチャンの観光名所
「パテューサイ（凱旋門）」

た場合、制度創設が最も困難であることから、キメの細かい技術協力を実施している日本に対して、その支援が要請された。

このような背景のもと、ラオス保健省は医師、歯科医師、看護師及び助産師を対象とした国家試験を2020年9月に実施することを目指して、その準備を開始した。ラオス保健省が筆者と共に、まず取り掛かったのは、2019年9月にパイロット看護師国家試験を小規模で行う事であった。初めて実施する試験であるため、目的、運営機関、受験資格及び手続、普及、試験問題作成を含む試験実施、採点及び合否判定、結果公開、合格証発行、モニタリング評価、全体スケジュール、予算の重点11項目を設定し、試験制度の設計を行った⁶⁾。



看護師国家試験の制度設計を提案する筆者
(左から2番目)

2019年1月から本格的な準備を開始し、同年9月にはパイロット試験を実施しなければいけないという時間的な制約がある中、ラオス保健省は積極的にこれに取り組んでいった。準備の各段階では、いつものように「ポーペンニャン」という言葉が随所で聞かれるものの、あつという間に準備が進んだ。2019年9月末には、パイロット看護師国家試験が全国3か所で無事に実施された。その後、採点や合否判定基準の検討が行われ、一連の過程を完了した。

2020年には、合格証が発行される第1回看護師国家試験が日本の支援によって実施される予定であるが、引き続きラオス保健省の強固なイニシアティブによって、これが実現されることを期待する。なお、昨今の新型コロナウイルス感染症による影響が、全世界的に深刻な状況にあることから、実施時期に執着することなくポーペンニャンの精神のもと、ラオス流の時間の流れの中で、確実に新たな制



パイロット看護師国家試験当日の受験生登録の様子



パイロット看護師国家試験の様子

度を創設してほしいと願う。

【参考文献】

- 1) 人口約649万人、国土面積24万Km²(日本の本州とほぼ同じ)、1人当たりGNP 2,472ドル<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/laos/data.html#section1>
- 2) 吉田英人、ゼロから話せるラオス語、2012年5月
- 3) Y Fukunaga, Assessing the Progress of ASEAN MRAs on Professional Services, ERIA Discussion Paper Series, March 2015
- 4) Strategy on Healthcare Professional Licensing and Registration system in Lao PDR 2016-2025, Ministry of Health, 2016
- 5) Fujita et al. Regulation of nursing professionals in Cambodia and Vietnam a review of the evolution and key influences, Human Resources for Health, 2019
- 6) Progress report on the creation of the outline of the National Examination for Nurses, Ministry of Health, JICA, 2019